

コギク 7月東京盆出荷作型露地電照栽培における品種別の電照終了時期

[要約]

コギク 7月東京盆出荷作型露地電照栽培において「常陸サニールビー」、「玉姫」、「たそがれ」は5月26日に、「雪舟」、「白鳥」、「常陸サニーホワイト」は5月21日に、「はるか」は5月16日に電照を終了すれば、7月東京盆需要期に出荷できる。

茨城県農業総合センター園芸研究所

成果
区分

技術情報

1. 背景・ねらい

温暖化に伴う気象の年次変動により、露地コギクの開花が不安定になり、需要期安定出荷が難しくなりつつある。8月旧盆、9月彼岸出荷作型では露地電照による開花調節栽培が普及しているが、7月東京盆出荷作型では電照方法が確立されていない。そこで、7月東京盆出荷作型露地電照栽培における電照終了日を明らかにする。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「常陸サニールビー」、「玉姫」、「たそがれ」では5月26日に、「雪舟」、「白鳥」、「常陸サニーホワイト」では5月21日に、「はるか」では5月16日に電照を終了すれば、東京盆需要期に出荷することができる。「ほたる」、「やよい」は自然開花期が東京盆需要期の末期となり、需要期出荷できない切り花割合が高くなるため、本作型に適さない(図1)。
- 2) 「常陸サニールビー」、「玉姫」、「雪舟」、「白鳥」、「常陸サニーホワイト」、「はるか」は、電照を行うと無電照に比べて採花日の年次変動が小さくなり、電照により開花時期が安定する(図1)。「たそがれ」、「やよい」、「ほたる」は電照を行っても開花の年次変動は小さくならない(図1)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 本成果は園芸研究所内圃場での結果であり、電照終了日は地域の条件によって調節する必要がある。
- 2) 電照処理は約10m²あたりに白熱電球(75w)1球を地表から1.5mの高さに設置し、22:00~2:00の4時間電照する。
- 3) 「常陸サニールビー」は5/26よりも消灯時期を遅らせることにより、東京盆需要期の出荷割合を高めることができる。

4. 具体的データ

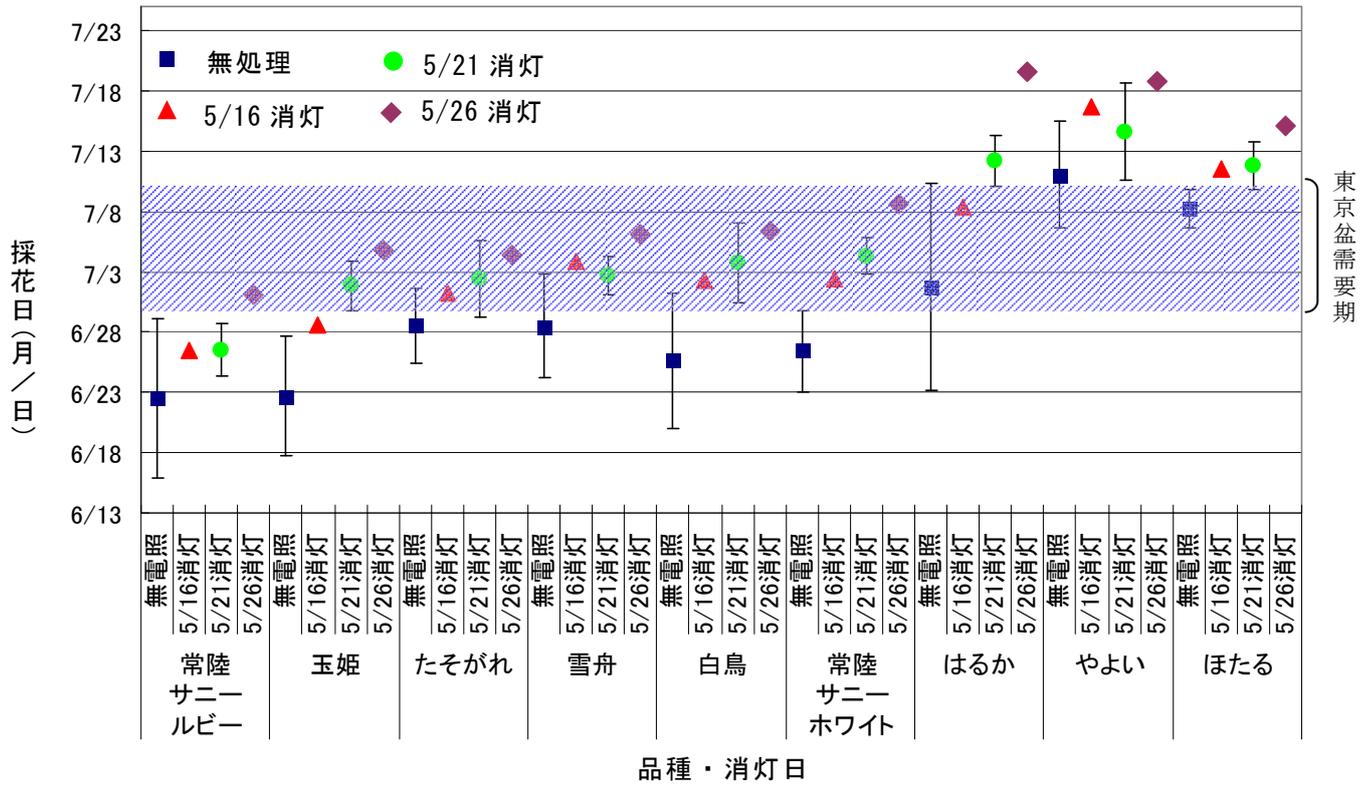


図1 電照の消灯日が採花日に及ぼす影響 (H20~22)

無電照と 5/21 消灯は H20~22 の 3 カ年、他は H21 と H22 の 2 カ年の平均
バーは標準偏差を示す

耕種概要 定植日：20年 3/25 21年 3/27 22年 3/30

摘心日：定植から 1 週間後 電照開始日：摘心日と同じ

5. 試験研究課題名・試験期間・担当研究室

露地コギクの電照技術等を利用した需要期ピッタリ出荷技術開発・平成 20~22 年度・
花き研究室